



2015年6月12日

東海大学

報道関係各位

【開催告知およびご取材のお願い】

第2回 国際協力実務研修「誰かが足りない…大学生はまだか?!」を実施
～学生の社会的責任(Students Social Responsibility)の創出と実践について議論～
日時:2015年6月27日(土)13:30～16:30 (開場 13:00)
会場:東海大学湘南キャンパス 松前記念館講堂(平塚市北金目 4-1-1)

東海大学(所在地:平塚市北金目 4-1-1、学長:山田 清志〔やまだ きよし〕)では、来る6月27日(土)13:30より、本学湘南キャンパス松前記念館講堂において、本学の学生プロジェクト「Japan Community Development Association (以下、JCDA)」による第2回 国際協力実務研修「誰かが足りない…大学生はまだか?!」を開催いたします。

この研修は、さまざまな企業や教育機関が、多様化する国際社会の課題に対して解決策を見いだそうと取り組んでいる中、これまであまり注視されてこなかった大学生によるアプローチを大学生自らが考え、学生の社会的責任「SSR (Students Social Responsibility)」の創出を目指して実施するものです。

第1部では、「多様化する国際協力」と題し、貧困や飢餓、環境問題など国際社会が抱える課題を解決するための重要な担い手として大きな期待を寄せられるも、十分にその役割を果たせていない大学生の実態について、同プロジェクト代表学生から問題提起します。

続く第2部では、企業や大学が国際貢献のためにこれまでどのようなアプローチをしてきたのかを学ぶため、CSR(企業の社会的責任)コンサルタントとして同分野の執筆および調査活動実績もある横須賀市議会議員の小林伸行氏、ならびに本学チャレンジセンターにおいてUSR(大学の社会的責任)型モデル育成のプログラム構築に携わってきた木村英樹所長(本学工学部電気電子工学科教授)による講演を実施いたします。

終盤の第3部では、国際社会の諸問題に対して大学生はどのような役割を担えるのか、世界から求められる「国際協力人材」になるためにはどのような活動を実践する必要があるのかなど、新しく求められる学生の社会的責任の可能性について、他大学より学生代表2名を招いてパネルディスカッションを行う予定です。

つきましては、次頁の概要にて開催いたしますので、ご紹介ならびにご取材いただければ幸いです。ご検討の程、宜しくお願ひいたします。

<本件に関するお問い合わせ>

東海大学 チャレンジセンター 担当:木村 直樹

TEL:0463-50-2504(直通)

■第2回 国際協力実務研修「誰かが足りない…大学生はまだか?!」開催概要

日 時 : 2015年6月27日(土) 13:30~16:30 (13:00開場)
 会 場 : 東海大学湘南キャンパス 松前記念館講堂 (平塚市北金目 4-1-1)
 講 師 : 横須賀市議会議員 小林伸行氏
 本学チャレンジセンター所長・工学部電気電子工学科教授 木村英樹
 対 象 : 地域住民の皆さま・本学学生・高校生
 入 場 : 無料 (予約不要)
 主 催 : 東海大学チャレンジセンターJapan Community Development Association

■スケジュール

13:30	挨拶及び講師の紹介
第1部	
13:40	プレゼンテーション「多様化する国際協力」 船田 祥雅、阿部駿 (本学教養学部国際学科3年)
第2部	
14:00	講演「CSRコンサルティングの経験とソーシャルミッションへのアプローチ」 小林 伸行氏 (横須賀市議会議員)
14:30	質疑応答
14:40	「USRの実践と展望」 木村 英樹 (本学チャレンジセンター所長・工学部電気電子工学科教授)
15:10	質疑応答
第3部	
15:30	パネルディスカッション 「SSR ^{*1} —創出と実践—」 パネリスト 平岡 愛氏 (東京女子大学 現代教養学部 国際社会学科国際関係専攻3年) 斉藤 寛人氏 (中央大学 法学部政治学科3年) コーディネーター 船田 祥雅
16:20	まとめ・アンケート

*1 SSR=学生の社会的責任 (Students Social Responsibility) を意味する JCDA の造語

■小林伸行氏 略歴

横須賀市議会議員。筑波大学人文学類卒。

CSRコンサルティング会社等に勤務後、2011年より横須賀市議会議員を務める。

地域通貨イタッチ・プロジェクト事務局長や国際環境NGO「A SEED JAPAN」、特定非営利活動法人NPOサポートセンターなど市民活動にも関わる。

■ 東海大学チャレンジセンタープロジェクト「Japan Community Development Association (JCDA)」について

東海大学チャレンジセンターは、学生が自由な発想で企画したプロジェクト活動を通じて、現代社会が求める「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」を体得する場です。ここでは、学部の枠を超えた学生たちが、多くの困難や失敗を乗り越えて、他者とのかかわりの中で、新しい自分の側面に気づき、その個性を磨いていきます。東海大学のすべての学部生と大学院生が参加資格を有しており、単一学科、単一クラブ・サークルのみの構成ではなく、学部横断的なグループでプロジェクトを構成することを要件としています。

このチャレンジセンターで活動する JCDA は、バングラディッシュの中北部、北部に居住するガロ民族の民族教育・文化継承および女性の社会進出の促進を目的に今年度、発足しました。今後も学生の社会貢献へのアプローチを促すための国際協力実務研修を実施していく予定です。

■ 東海大学湘南キャンパス内地図



【ご取材申込書】

第2回 国際協力実務研修「誰かが足りない・・・大学生はまだか?!」を実施
～学生の社会的責任(Students Social Responsibility)の創出と実践について議論～

日時:2015年6月27日(土)13:30～16:30 (開場 13:00)

会場:東海大学湘南キャンパス 松前記念館講堂(平塚市北金目 4-1-1)

誠に恐縮ではございますが、諸準備の関係上、
事前に FAX にてお申し込みいただければ幸いです。

FAX:0463-50-2472

東海大学 チャレンジセンター 担当:木村 直樹

貴社名	
貴媒体名	
ご所属	
ご芳名	
電話番号	
FAX 番号	
連絡欄	